

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原料料名	原産国	含有区分	文獻	症例	適用装置	感染症(PT)	出典	概要
												HTLV	American Society of Hematology 2007年12月8-11日	1999年1月～2006年12月に長崎で献血を行った初回献血者の年齢別、出生年別および期間別HTLV-1血清陽性率の傾向分析を行った。血清陽性率は年齢が高くなるにつれ有意に増加した。また1987～1990年に生まれた献血者では1985～1986年に生まれた献血者と比較して有意に低かった。ウイルスキャリアの母親の授乳を避ける事を指導した県の対応が陽性率の低下に貢献していることが示された。
1076	2008/03/25	71076	日本赤十字社	(製造承認書に記載なし)	合成血	人血液	日本	有効成分有	無	無	無	細菌感染	ABC Newsletter 2007年9月21日	FDAは輸血前の血小板中の細菌汚染を検出するための初めての迅速検査を販売承認した。Verax Biomedical Inc 製造のPlatelet Pan Genera Detection Test Systemは病院の輸血部で使用するための使い捨て検査機器である。
												感染	Transfusion 2007; 47: 2338-2347	2007年3月29-30日、カナダのトロントで行われた病原体不活化(PV)技術に関するコンセンサス会議の報告である。近年の検査技術の発達により、現状の輸血感染症リスクは非常に低く、PVを直ちに導入する事は推奨しない。しかし新興感染症のリスクは未知数であり、PVは予防手段として重要である。広範囲の病原体を不活化できる安全な方法が確立されれば実施すべきである。
												感染	ABC Newsletter 2008年1月11日	血液安全・安定供給諮問委員会は、米国保健社会福祉省事務局に対し、安全で効果的な輸血用血液製剤の病原体低減技術(不活化)の早急な開発を優先して進め、開発され次第実施するよう勧告した。病原体低減の効果と安全性を示すエビデンスの蓄積は、今後蔓延する可能性のある感染症に対し広く適応できるセーフガードとして、この技術の導入を保証するという決断を採択した。